

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。
なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査（以下「全国学調」）の国語では、場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解することについて、全国平均を大きく上回る正答率でした。この他にも、文脈の中における語句の意味を理解する問題が全国平均を上回る正答率でした。本校で行っている朝読書や、新聞のコラムを使っての学習などを通じて、読んで内容を理解する力や、意味を正確に理解する力が付いてきていると思われま

す。質問紙調査の結果から、「自分と違う意見について考えるのは楽しい」の設問では、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒が全国平均を上回っていました。日々の授業の中で、積極的にグループでの話し合い活動を取り入れてきたことが、結果に反映されたものと思われま

課題と対応

数学では、目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する設問や、平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になること

の理由を説明する設問で、正答率が低く、課題が見られました。授業の中で、学習内容を活用できるように計画し、定着を図っていきたいと考えます。
質問紙調査の結果からは、「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます。）をしていますか」という質問に対し、「1時間以上」と回答した生徒が89.6%おり、全国平均と比較しても約10%多いことがわかりました。自分ログ（生活ノート）に放課後の過ごし方を記入したり、藤田中学校区全体でノーメディアデーを設定するなど、生活状況の改善につながるような啓発に取り組んでいるところです。

【保護者・学区の方へのお願い】

地域の行事に参加している生徒の割合は、全国平均を上回っています。地域とのつながりを感じるとともに、地域の一員として自己有用感を得ることのできる絶好の機会であると考えています。生徒が地域社会について知り、よりよい社会づくりに貢献できる人材として成長できるよう、引き続き連携していきたいと思います。

「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」という質問に対し、「守っていない」「あまり守っていない」「約束はない」と回答した生徒が全国平均を上回っています。今一度、メディアの望ましい使用についても考え、家庭でのよりよい生活習慣が確立されるよう、一層のご協力をお願いします。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第1学年	国語	文学作品の内容を読み取ることができる。
	社会	日本の政治で、三つの機関が国の重要な役割を分担している仕組みを理解している。
	数学	データの活用ができ、ドットプロットを使って中央値を求めることができる。
	理科	てこのはたらきを理解し、釣り合う条件やてこの原理について考えることができる。
	英語	時間や時刻を尋ねるなど、場面に応じて、対応する。
	学習状況	授業でもっとコンピュータなどのICTを使いたいと思う生徒が多い。
第2学年	国語	文学作品を読んで、場面の展開や登場人物などの描写から心情を捉えることができる。
	社会	世界の地域構成（ヨーロッパ州、北アメリカ州）について、理解している。
	数学	正の数・負の数の計算ができる。
	理科	植物の分類について、理解している。
	英語	英文を聞いて、大まかな場面や内容を捉えることができる。
	学習状況	コンピュータ等のICTを活用した学習に意欲的である。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第1学年	国語	文脈に即して漢字を正しく読んだり、書いたりすることに課題がある。	国語では、新聞のコラムの書き写しを行い、漢字の読み書きとともに、文章力の向上を目指している。社会では、資料やグラフなどの読み取りに時間をかけて丁寧に扱っている。数学では、既習事項を振り返りながら進めることで苦手意識をなくし、基礎・基本事項を身に付けるように授業を行っている。理科では、実験・観察を通して事物・現象を的確に捉えることができるように、再観察・再実験を行い、理解が深まるよう取り組んでいる。英語では、英文法など既習内容の解説をすることにより、基礎的な力が身に付くよう取り組んでいる。各教科とも、単元ごとに小テストを実施し、学びの方向性を修正できるようにしている。また、読解力を身に付けるために朝読書を毎日実施している。 学習状況としては、家庭学習の定着を呼びかけるとともに、定期考査の際にはメディアコントロール週間を設け、家庭にもノーメディアの協力を求めている。
	社会	日本地理で、資料を読み取って表現することに課題がある。	
	数学	比の表し方、比を使って値を求めることに課題がある。	
	理科	植物の花のつくりと実についての理解に課題がある。	
	英語	日常の動作・生活など日常表現の理解に課題がある。	
	学習状況	家庭学習の時間が短く、ゲームやインターネットをする時間が長い。	
第2学年	国語	漢字を読んだり書いたりする能力に課題がある。	国語では、今年度より漢字テストを実施し、漢字の読み書きの能力を身に付けさせる取組を行っている。社会では、どの分野にも興味関心をもって取り組むことができるよう、工夫しながら授業を進めている。数学では、繰り返し問題演習を行うことによって、計算等の基礎的な力を身に付ける取組を行っている。理科では、観察や実験などの活動を通して、予想したり、予想と結果を比較したりして、自ら考えることでそれぞれの分野についての理解を深めさせたい。英語では、基礎的な文法が身に付いていないため、文の仕組みについて復習することで長文を読み取る力を高めていきたい。 学習状況としては、メディアコントロールを行い、家庭学習に取り組むことができるよう、地域や保護者と連携した取組を継続していきたい。
	社会	人々の信仰と文化の知識・理解に課題がある。	
	数学	文字の式や空間図形の知識・理解に課題がある。	
	理科	気体の性質についての知識・理解に課題がある。	
	英語	長文を読み取り、内容に関する質問に答える能力に課題がある。	
	学習状況	テレビゲームやインターネットをする時間が長く、家庭学習の時間が短い。	

【保護者・学区の方へのお願い】

メディア（スマートフォン、テレビゲーム、インターネット等）を使用する時間が長く、家庭学習に集中できていない点に課題が見られます。学校と家庭、地域が協力をして、子どもが主体的に学習に取り組むことができるような環境を作っていきたいと考えています。